

一般質問 梅津政志議員 1項目を問う



梅津政志議員

問 木質バイオマス燃料調達の計画は

答 地元林業業者と協議を進める

問 バイオマスボイラーの燃料である木質チップの今後の調達計画とチップ製造に必要な作業機械の整備計画は。

答 チップ材生産については地元林業業者と協議を進める、必要な作業機械や建屋は今年中にまとめる。

問 森林施業上発生し山林材や、未利用材を活用することも森林環境の保全の観点からも有効と考えられるが。

答 チップ材生産は森林整備の推進、また森林所有者が森林に関心を持ち適期を迎えた森林を整備し、森林の整備を進めることが本来の目的。

森林資源の活用

問 チップ材は一般の林家からの買取りも可能か。

答 一般林家からの木材の買取りも計画中で現金ではなく地域内で通用する商品券等を検討している。

問 今後バイオマス熱利用が進むことで森林資源の活用や集積、加工、運搬などの地域の雇用の創出も考えられるが担い手の確保についての考えはあるか。

答 雇用は3名を予定し年間5000立方のチップを生産する計画。本町の森林を整備するのが目的でチップ製造はその手段である。

問 入浴施設への給湯や販わい拠点広場内への融雪のための熱源の供給以外に考えている利用方法は。

答 販わい拠点広場前の国道113号線の融雪の熱源として供給する計画はあるが新たな部分での検討はしていない。



▲チップボイラー



▲木質バイオマス施設

一般質問 渡部英幸議員 2項目を問う



渡部英幸議員

問 町発注工事の品質確認は

答 資格を有するコンサルタントに委託している

問 入浴施設の営業管理等は

答 公衆浴場管理者にて運営している

品質確認

問 町発注の工事は年々拡大し、業者は工期内完成に向けて急ピッチで工事を進めている。町では工事の品質管理、特に建築工事であれば設計寸法や納入資材の確認、土木工事であれば舗装の路床の軟弱度の確認、特に舗装前の路盤の密度試験の立ち合いなど、指導管理基準を設けているか。

答 建築工事は設計から管理まで専門のコンサルタントに業務委託している。土木工事は町の職員が監督し段階検査を行い完成図書で写真による確認、現場検査を行い、技術的なことは県建設センターの指導。町に指導管理基準は設けず宮城県共通仕様書を基本に施工指導をしている。

問 建築コンサルタント業務委託ではなく職員から検査員を選任して段階検査

していけば品質のいい耐久性のある完成品が出来るのではないか。

答 役場内に技術職員がいなくても現場で指示、管理している。

営業管理等

問 入浴施設「や・すまっしえ」はオープン以来多くのお客様に利用されているが、入浴客が多くなるにつれ施設の不備やお湯の調整が指摘されている。

答 従業員は事前に入浴施設管理の研修を行ったのか。また浴槽の手すりやかけ湯の不備、1ヶ所しかない非常口など今後どのように改善していくのか。

答 オープン前に消防署の指導、救命救急講習や消防訓練研修を実施。「おたて」の公衆浴場管理者が兼任し運営している。手すりは設置済み非常口に

については設置義務はないので現行のまま運営する。

問 レジオネラ感染症対策はどのように考えるか。

答 町は設置者で施設運営は指定管理者にお願いしている。特に衛生管理には注意し管理者と密に連携して運営していく。

問 オープンして約2か月過ぎたが、光熱費のチップや重油、炭酸等のコストデータは。

答 現在、数字的なデータはないがチップの値段は高いと聞いている。炭酸も1本5千円位と記憶している。これから随時、町として監視、検討して行きたい。